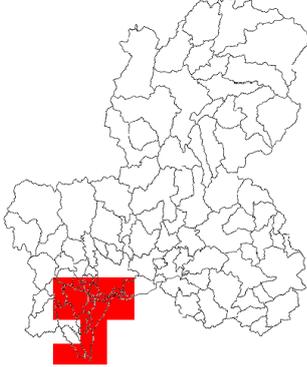


サデクダ	<i>Persicaria maackiana</i> (Regel) Nakai	準絶滅危惧
		タデ科
選定理由	生育適地が少なく、その環境も悪化し、個体数も減少している。	写真(奥田和利)
形態の特徴	一年草。茎には逆刺があり、高さ30-100cm。葉は披針形矛形、耳部は水平に開、両面に星状毛がある。花は総状で短く2-5花、花柄には刺毛と腺毛がある。	
生態的特徴	低地の水辺に生育する。	
分布状況	本州・四国・九州に分布、岐阜県では岐阜市から海津市まで、木曽・長良・揖斐、三河川下流部に分布する。	
減少要因	開発、河川改修、水質悪化、乾燥化などによる生育環境の悪化。	
保全対策	改修時の工夫と河川、水湿地等生育地の保全	
特記事項		
参考文献		

文責：須賀瑛文